

漢語西寧方言における「離合詞の倒置」

川 澄 哲 也 (福岡大学言語教育センター)

1 序 ー漢語西寧方言の紹介を兼ねて

本稿の記述対象である「漢語西寧方言」(以下「西寧方言」)は、中華人民共和国青海省の省都西寧市において、主として漢族と回族によって用いられている官話西北方言の一つである^{*1}。西寧市およびその近隣一帯には上述の2民族以外に、チベット族と、モンゴル系民族の1つである土族も多く居住する。両民族はそれぞれ、固有の言語であるチベット語(アムド方言)と土族語^{*2}を話している。いずれもSOV語順を基本とする言語である^{*3}。

このような多民族、多言語地域で話されている西寧方言は、言語接触の影響により、漢語としては珍しい文法特徴を多く有する^{*4}。一例を挙げると、西寧方言では漢語方言で一般的なSVO語順が用いられるのに加えて、漢語としては珍しいSOV語順を用いることも可能である。そのため、同じ意味を表す文であっても、2種類の語順で表現できることが多い。例えば

という文は、一般的な漢語方言と同様のSVO語順を用いたものであるが、西寧方言では同じ意味の文を

2) [nɔ⁴⁴ tʃwǎ⁴⁴ kwɪ⁴⁴ zɕ²¹ pɿ²¹ sl¹³]

(我 中 国 人 不 是。)

私 中国人 [否定] 繫詞

「私は中国人ではありません。」

のように、SOV語順で表現することもできる^{*7}。標準漢語(以下「普通話」)でも、介詞(preposition)を用いて目的語を動詞に先行させる表現であれば頻繁に用いられるが、介詞を用いないSOV語順^{*8}の文は、目的語を「話題化」する場合にのみ使われる、特殊な表現法である。これに対して西寧方言では、目的語の話題化とは無関係にSOV語順を用いることができる。このことは以下の例文3で不定(indefinite)の目的語“一件大衣”が動詞“穿”に前置されていることから明らかである。

1) *5 [nɔ⁴⁴ pɿ²¹ sl¹³ tʃwǎ⁴⁴ kwɪ⁴⁴ zɕ²¹] *6

(我 不 是 中 国 人。)

私 [否定] 繫詞 中国人

「私は中国人ではありません。」

3) [tɕjA²⁴ ʒ²¹ tɕjE³³ tA²¹ ʒ³³ tʃhwa⁴⁴ tʃɕ²¹] *9

(tɕjA 一 件 大 衣 穿 tʃɕ²¹。)

彼 1 [量詞] コート 着る [助詞]

「彼は1着の(=とある)コートを着ている。」

*1 本稿で用いる西寧方言のデータはいずれも、筆者が実地調査で得たものである。調査に協力して下さったのは、ともに西寧市で生まれ育った魯峻氏(漢族・男性・1945年生まれ)と趙宗洲氏(漢族・男性・1946年生まれ)である。

*2 モンゴル系言語の一つ。「モンゴル語(Monguor)」と呼ばれることもある。

*3 以下に両言語の例文を挙げる。aはチベット語(アムド方言)、bは土族語の例である。

a) yloθən tɕhɔ tɕa kaŋ θoŋ. (青海省地方志編纂委員会編 2001: 190)

同志 [複数] 茶 1 飲む 「みなさん、お茶をどうぞ。」

b) budasge xonəŋge alaja. (照那斯图編著 1981: 18)

我々 羊(単数) 殺す 「我々は1匹の羊を殺す。」

*4 西寧方言の文法特徴に関しては、程(1980)を嚆矢として数多くの研究や報告がある。

*5 西寧方言の用例は、IPAによる簡易音声表記、漢字表記、グロス、和訳の順に示す(西寧方言分節音の音声記述および音素分析については川澄 2009b、声調に関しては川澄 2006、川澄 forthcoming 参照)。漢字表記していない要素は、標準漢語(普通話)に対応する要素がないか、或いは対応する要素が不明のものである。

*6 例文1中の音声記号のうち、[ɿ]はIPAに含まれない。IPAでは[z̥](成節的な[z̥])と表記できる音声であるが、漢語の音声学では[ɿ]を用いて表すのが一般的であり、本稿でもこの記号を用いる。

*7 調査協力者によれば、どちらの語順を用いた場合もニュアンスの違いなどは感じられないという。2種の語順がどのように使い分けられているか、現段階では解明できていない。

*8 以下本稿で「(S)OV」と述べる場合は、介詞を用いないで目的語が動詞に前置されている表現を指すことにする。

*9 例文3で用いる音声記号のうち、[A]と[E]についてはIPAに含まれていない。本稿では[A]をもって舌の前後位置が[a]と[a]の間である広母音を表す。また[E]を用いて舌の高低位置が[e]と[e]の間である前舌母音を表す。

SOV語順をとる場合、種々の格標識が名詞に後置されることもある。与格 (dative) と対格 (accusative) を標示する場合は “[xA]” が、奪格 (ablative) には “[sA]” が、具格 (instrumental) と共同格 (comitative) には “[ljA]” が、それぞれ用いられ得る^{*11}。用例は以下の通りである。

- 4) [ɰ⁴⁴ ʂɰ̃⁴⁴ xA² kwɪ²¹ tsɿ⁴ ɿ³ sA²¹ tɕwɪ²⁴ tɕhɿ⁴⁴ le⁴⁴]
(衣 裳 xA 柜 子 里 sA 拽 出 来。)
衣装 を 棚の中 から 引っ張り出す
「服を棚の中から引っ張り出して。」

- 5) [nɔ⁴⁴ swɔ̃⁴⁴ xu⁴⁴ ljA³¹ ɕi⁴⁴ tɕɛ³¹]
(我 swɔ̃ xu ljA 写 tɕɛ。)
私 毛筆 で 書く [助詞]
「私は毛筆で書いています。」

西寧方言の “[sA]” と “[ljA]” は、土族語の奪格接尾辞 “-sa”、具格・共同格接尾辞 “-la” と、形式、機能ともに類似している^{*12}。この点に基づいて多くの先行研究は、西寧方言における SOV 語順の使用は土族語との接触によって生じた変容であると考えている^{*13}。

本稿では、西寧方言の SOV 語順使用と密接な関わりがある、「離合詞の倒置」という現象を報告する。この現象は先行研究では詳しく取り上げられたことがないが、西寧方言の来している言語変容の様相を明瞭に示す、大変興味深い事象である。

2 「離合詞」とは

まず第2節では、本稿で議論の中心になる「離合詞」という用語に対して説明を加えておきたい。

漢語において、複数の形態素からなる要素の中には、形態素同士の結びつきがそれほど強固ではなく、間に他の成分を介入させることのできるものがある。以下、普通話の“帮忙”“结婚”を使って例示する^{*14}。

帮 忙
bāng máng
救う 忙しさ
「手伝う」

结 婚
jié hūn
結ぶ 婚姻
「結婚する」

例文6)と7)は、形態素同士が連結して使われている例である。

- 6) 我 来 帮 忙 吧。
Wǒ lái bāng máng ba.
私 来る 救う 忙しさ [助詞]
「私が手伝いましょう。」

- 7) 你 结 婚 了 吗?
Nǐ jié hūn le ma?
君 結ぶ 婚姻 了^{*15} [助詞]
「あなた、結婚しましたか?」

一方、以下の例文8)、9)は、形態素間に他の成分が介入している例である。

- 8) 帮 他 的 一 个 大 忙。
Bāng tā de yí ge dà máng.
救う 彼 の 1 [量詞] 大きい 忙しさ
「彼の一大事を手伝う。」

- 9) 结 过 两 次 婚。
Jié guo liǎng cì hūn.
結ぶ [助詞] 2 [量詞] 婚姻
「2度、結婚したことがある。」

^{*10} “tɕɛ” は西寧方言で常用される助詞。動作の進行、状態の持続を表すことが多い。

^{*11} これら格標識の使用は必須ではなく、用いなくても意味的に曖昧でない場合は、省略されることが多い。

^{*12} 土族語 “-sa” と “-la” の用例を以下に挙げる。

- a) ɕiuu dooro-sa nesə ɕəva. (照那斯图編著 1981: 24)
鳥 下 から 飛ぶ 行く 「鳥が下から飛んで行った。」
b) sgo-la tɕabdʒə, soŋxo-la dʒiuurə. (ibid.: 20)
斧 で 切つて 筆 で 書く 「斧で切り、筆で書く。」
c) tɕə munə aaga-la xamdə ɕdzə. (ibid.: 21)
君 私 の 叔父 と 共に 行く 「君は私の叔父と一緒に行く。」

^{*13} 筆者は川澄 (2009a) において、より詳細な言語学的分析と、当地の歴史背景 (特に各民族の人口推移) についての考察を行い、この見解に同意した。これに対し、チベット語との接触が西寧方言変容の原因であると考えている先行研究もある (本注に記述した内容についての詳細は川澄 2009a の第3章および第4章を参照されたい)。

^{*14} 普通話の用例は、漢字表記、ピンイン表記、グロス、和訳の順に示す。

^{*15} 本稿のグロスで“了”と表記するのは、動作の完了、実現を表す助詞である。

このような、形態素が連結して使われることもあれば分離して使うこともできる要素を、中国語学では「離合詞(離合詞 lǐhécí)」と呼んでいる。離合詞は、形態素間の関係に基づいて、いくつかのタイプに分類できる。例えば中山監修(1990)では、離合詞を以下の4種に分類している。

[1] 動賓関係(前半が動詞、後半が目的語)

e.g. 報名

bào míng

告げる 名前

「応募する」

[2] 動補関係(前半が動詞、後半がその結果)

e.g. 提高

tí gāo

持つ 高い

「向上させる」

[3] 並列関係(前後とも動詞)

e.g. 记录

jì lù

記す 書きとる

「記録する」

[4] 主述関係(前半が主語、後半が述語)

e.g. 心慌

xīn huāng

心 慌てる

「落ち着かない」

本稿ではこのうちの [1]、すなわち前部要素が動詞、後部要素がその目的語となっている構造のもの(以下「VO 型離合詞」)を議論の対象とする。

3 VO 型離合詞の「倒置」

3.1 普通話の場合

普通話で使われる VO 型離合詞の中には、目的語成分を動詞に先行させることのできるものがある。本稿ではこの現象を VO 型離合詞の「倒置」と呼ぶ。この現象は、目的語成分が話題化、あるいは強調される場合に起こる。そして話題化／強調との関連で、離合詞の倒置を行うためには条件がある^{*16}。例えば前節で挙げた“帮

忙”を倒置するためには、“这个 zhèige (この)”のような語句を用いて目的語成分“忙”を定(definite)にする必要がある(以下、用例中では動詞に__、目的語成分に__を付す)。

10) 这个忙不能帮。

Zhèi ge máng bù néng bāng.

この 忙しさ[否定]できる 救う

「この忙しさは助けられない。」(周 2006: 162)

あるいは“连 lián ~也 yě [or 都 dōu] ... (~すら...)”のような、目的語成分が強調される構文の中でも倒置が可能になる。

11) 你怎么连这么点儿忙也不肯帮?

Nǐ zěn me lián zhè me diǎnr máng yě bù kěn bāng?

君 どうして~すら こんな 少し 忙しさも [否定]しようとする 救う

「あなたは どうして こんな ちょっとのことも 手伝おうとしないのですか?」(中山監修 1990: 30)

離合詞“结婚”も、目的語成分が強調される構文を使用する場合には、倒置をすることができる。

12) 他连婚都不结。

Tā lián hūn dōu bù jié.

彼 ~すら 婚姻 皆 [否定] 結ぶ

「彼は結婚すらしない。」(周 2006: 163)

上記の条件が整わない場合は倒置をすることができない。例えば、単に目的語成分を動詞に先行させただけの以下の表現は、普通話ではともに非文である。

13) *忙帮了。

Máng bāng le.

忙しさ 救う 了 (ibid.: 162)

14) *婚结了。

Hūn jié le.

婚姻 結ぶ 了 (ibid.: 163)

ここでは“帮忙”“结婚”の2例に留めるが、これら以外でも、脚注16で触れたような一部の例を除いて、普通話では目的語成分の話題化／強調という文脈でなければ、VO 型離合詞を倒置して使うことは不可能である。

^{*16} 周(2006:156)によれば、VO 型離合詞の中には、特に条件なく倒置を行えるものもあるという。e.g. 睡觉(shuì [眠る] jiào [眠り])→觉睡了。「眠った」

但し周(2006:162)は、このような VO 型離合詞は多くないとしている。一方で、非常に多くの VO 型離合詞は、どのような場合であっても倒置ができないと記述している(ibid.)。

3.2 西寧方言の場合

続いて西寧方言の議論にうつる。西寧方言では、普通話と共通形式の VO 型離合詞が多く用いられる。例えば上述の“帮忙”“结婚”は、西寧方言でも用いられる。

- 15) [tɕjA²⁴ pɔ̃²⁴ mɔ̃²¹ ljo¹³]
(tɕjA 帮 忙 了。)
彼 救う忙しさ 了
「彼は手伝いました。」

- 16) [tɕjA²⁴ tɕi²⁴ xwə̃⁴⁴ ljo³¹]
(tɕjA 结 婚 了。)
彼女 結ぶ 婚姻 了
「彼女は結婚しました。」

但し、倒置に関しては2変種の間に大きな差が存在しており、西寧方言の場合、上記2つの VO 型離合詞は、前節で挙げた条件を満たさなくても倒置して使うことができる。そのため例文15、16はそれぞれ、以下のように言い換えることも可能である。

- 17) [tɕjA²⁴ mɔ̃²¹ pɔ̃⁴⁴ ljo²¹]
(tɕjA 忙 帮 了。)
彼 忙しさ 救う 了
「彼は手伝いました。」 cf. 普通話の例文13).

- 18) [tɕjA²⁴ xwə̃⁴⁴ tɕi⁴⁴ ljo³¹]
(tɕjA 婚 结 了。)
彼女 婚姻 結ぶ 了
「彼女は結婚しました。」 cf. 普通話の例文14).

調査協力者によれば、例文15と17、例文16と18はそれぞれ、全く同じ意味を表しているという。また、離合詞を倒置して使用しても、目的語成分の話題化や強調というニュアンスは生じないという。

以下、離合詞倒置の用例を3つ追加する^{*17}。例文19は「辞職する」という意味の離合詞“辞职”を倒置して使っている例である。

- 19) [ni⁴⁴ tɕi⁴⁴ tsɿ²¹ ljo²¹ mɔ̃³] -
[tɕi⁴⁴ tsɿ²¹ ljo¹³] ^{*18}
(你 职 辞 了 没? - 职 辞 了。)
君 職 辞める 了 [否定] 職 辞める 了
「辞職しましたか? - 辞職しました。」

周 (2006: 163) には、普通話の離合詞“辞职”は、目的語成分“职”を強調する構文の助けを借りなければ倒置できないと記述されている。一方西寧方言では“职”の強調というニュアンスが含まれていなくても倒置が可能である。

次の例文20は「補講する」という意味の離合詞“补课”が倒置されている例である。

- 20) [lo⁴⁴ si³ ki²¹ no⁴⁴ kɰ²⁴ pɰ⁴⁴ ljo²¹]
(老 师 给 我 课 补 了。)
先生 ~に 私 授業 補う 了
「先生は私に補講をした。」

“补课”も、普通話では“课”が強調されている文脈でなければ倒置は不可能だという (ibid.)。一方西寧方言の例文20は、調査協力者にそのような文脈ではないことを確認した上で得られたデータである。

本節最後に挙げる離合詞は「よろしく言う」という意味を表す“问好”である。

- 21) [lo⁴⁴ tɕi⁴⁴ ni⁴⁴ xA³ xo⁴⁴ wə̃²¹ ljo⁴ mɔ̃²¹] -
[xo⁴⁴ mɔ̃²¹ wə̃²⁴]
(老 张 你 xA 好 问 了 没? - 好 没 问。)
張さん 君 に よい 伺う 了 [否定] よい [否定] 伺う
「張さんは君によろしく言いましたか? -
言っていない。」

周 (2006: 162) によれば“问好”は、普通話ではどのような手段を使っても倒置することができないという。一方西寧方言では、上記例文のとおり、倒置することが可能である。

4 考察

第3節で見た通り、普通話と西寧方言の間には、VO型離合詞の倒置に関して振舞いに大きな違いがある。その要因は、両変種の統語構造の差に求められるだろう。普通話は SVO 型の言語であり、先述したとおり目的語を話題化するような特別な文脈でなければ、目的語が動詞に先行することはない。この原則は VO 型離合詞を使用する際にも適用されるため、3.1節で示した条件を満たさなければ、VO 型離合詞を倒置して“OV”の順で用いることはできない。一方西寧方言では、SVO 語順に加えて、少数民族言語との言語接触の影響により SOV 語順の文も用いることができる。またその際、目

^{*17} より多くの離合詞倒置の用例は稿末【資料】に列挙したのでそちらを参照されたい。

^{*18} 例文19中の音声記号のうち [ɿ] は IPA に含まれないが、漢語の音声学では非円唇、そり舌の舌尖母音を表すのに用いられる。IPA の枠組みで表記するなら [ɿ̥] (成節的な [ɿ̥]) となる。

的語が話題化されるというニュアンスは生じない。西寧方言はこのような構造を有するため、VO 型離合詞についても特に条件なく倒置することができると考えられる^{*19}。

5 結

本稿では西寧方言における「VO 型離合詞の倒置」という一現象を通じて、当該方言の構造的異性の一端を示した。西寧方言で SOV 語順が使用されることに関しては先行研究でも度々指摘されていたが、この特徴を VO 型離合詞の使い方と絡めて記述しているものは無かったため、本稿で報告した。

参 考 文 献

程祥徵

1980「青海口語語法散論」『中国語文』1980(2):142-149.
川澄哲也

2006「漢語西寧方言の声調－声調体系、および連読変調に関する考察－」『東ユーラシア言語研究』第1集: 92-116. 東京: 好文出版.

2009a「漢語西寧方言の研究」(京都大学博士論文)

2009b「西寧方言の音段音系学」『京都大学言語学研究』28: 91-112.

2010「西寧方言の小句接続标记“着”」『アジア言語論叢』8 (神戸市外国語大学外国語研究 76): 83-93.

forthcoming「漢語西寧方言の2音節語における声調中和現象」『京都大学言語学研究』30.

都兴宙

1995「论西宁话里的虚词“lia”」『青海民族学院学报(社会科学版)』1995(4): 56-61.

中山時子(監修)、鹿琤世・李清華・大瀧幸子(編著)

1990『中国語離合詞500』東京: 東方書店.

青海省地方志編纂委員会(編)

2001『青海省志・方言志』合肥: 黄山書社.

照那斯图(編著)

1981『土族語簡志』北京: 民族出版社.

周上之

2006『汉语離合詞研究－汉语語素、詞、短語的特殊性』

上海: 上海外語教育出版社.

張成材

2001「西寧方言的賓動式」『青海師專學報(社會科學)』

2001(4): 26-30.

【資料】西寧方言における VO 型離合詞倒置の用例

本稿で報告した西寧方言の VO 型離合詞倒置現象に関しては、先行研究の中で唯一、張(2001)に言及が見られる。但しその張(2001)も、倒置できる離合詞を単独で数例列挙しているだけであり^{*20}、分析や具体的な例文の提示は行われていない。本【資料】では、筆者が実地調査で得たデータの中から、VO 型離合詞が倒置されて使われている例を含む文を提示する^{*21}。

まず例文 22 は、「卒業する」という意味の離合詞“毕业”が倒置されている例である。

22) [tʰA⁴⁴ tA²¹ ɕqu⁴⁴ ni⁴⁴ pɕ²¹ ljo³¹]

(他 大 学 业 毕 了。)

彼 大学 学業終える 了

「彼は大学を卒業した。」

例文23は「(気持ちを) 落ち着ける」という意味を表す離合詞“安心”が倒置されている例である。

23) [ni⁴⁴ ɕji⁴⁴ nã⁴⁴ ljo⁴⁴ mɔ²¹] - [ɕji⁴⁴ nã⁴⁴ ljo²¹]

(你 心 安 了 没? - 心 安 了。)

君 心 安らげる 了[否定] 心 安らげる 了

「落ち着きましたか? - 落ち着きました。」

例文24は「厳しく検査する(／関所を守る)」という意味の離合詞“把关”が倒置されている例である。

24) [tɕʰ²¹ kɔ⁴ wɔ²¹ tɕp³³ ni⁴⁴ kwã⁴⁴ pA⁴⁴ ljo³ mɔ²¹]

- [kwã⁴⁴ pA⁴⁴ ljo²¹]

(这个 文章 你 关 把 了 没? - 关 把 了。)

この 文章 君 関所守る 了[否定] 関所守る 了

「この文章を、あなたは審査しましたか?

- 審査しました。」

*19 離合詞の倒置は、同じ青海省内の海南藏族自治州貴徳県で話されている漢語方言でも確認されている。この方言も、言語接触の影響で、SOV 語順を多用するという。

e.g. tʰA¹ mən¹ jɿ¹ tɕin¹ xun¹ tɕɿ¹ A¹ tɕɿ¹.

(他们 已经 婚 结 啊 者。)[彼らはすでに結婚した。]

貴徳県の漢語方言についての情報やデータは、京都大学人文科学研究所の池田巧先生よりご提供頂いた。記して感謝申し上げる。

*20 張(2001)が挙げるのは次のような例である: 尿炕(寝小便をする)、做寿(老人の誕生祝いをする)、放心(安心する)、起面(小麦粉を発酵させる)、下雨(雨が降る)、下班(退勤する)、下乡(農村へ行く)、下课(授業が終わる)、挂号(申し込む)、理发(散髪する)、洗澡(入浴する)、喝酒(酒を飲む)。

*21 なおいずれの例についても、目的語成分の話題化／強調というニュアンスが含まれていないことを調査協力者に確認してある。

例文25は「軍隊に入る」という意味の離合詞“参军”が倒置されている例である。

- 25) [ni⁴⁴ tɕɿ⁴⁴ ts^hä⁴⁴ ljo⁴ mo²¹]
 - [tɕɿ⁴⁴ ts^hä⁴⁴ ljo²¹]
 (你 军 参 了 没? - 军 参 了。)
 君 軍 参加する 了 [否定] 軍 参加する 了
 「軍に入りましたか? - 軍に入りました。」

例文26は「口げんかをする」という意味の離合詞“吵架”が倒置されている例である。

- 26) [no⁴⁴ t^hA⁴⁴ lja³ tɕja²⁴ ts^hɔ⁴⁴ ku²¹]
 (我 他 lja 架 吵 过。)
 私 彼 と 喧嘩 言い争う [助詞]
 「私は彼と口げんかをしたことがある。」

例文27は「損をする」という意味の離合詞“吃亏”^{*22}が倒置されている例である。

- 27) [sɔ²¹ ts^hɿ³³ k^hwɿ⁴⁴ ts^hɿ⁴⁴ ljo⁴ tsɔ³ no⁴⁴ tsɿ³³ ʒ²¹ kɛ⁴⁴ pɿɛ²¹ ljo³¹]
 (上 次 亏 了 着 我 主意 改变 了。)
 前回 欠ける 食べる 了 着^{*23}私 考え 変える 了
 「前回損をしたので、私は考えを変えた。」

例文28は「殴り合いのけんかをする」という意味の離合詞“打架”が倒置されている例である。

- 28) [no⁴⁴ t^hA⁴⁴ lja³ tɕja²⁴ tA⁴⁴ ku²¹]
 (我 他 lja 架 打 过。)
 私 彼 と 喧嘩 打つ [助詞]
 「私は彼と殴りあったことがある。」

例文29は「拍手する」という意味の離合詞“鼓掌”が倒置されている例である。

- 29) [nɛ²⁴ sl²¹ xu²¹ ni⁴⁴ tsɔ⁴⁴ kɿ⁴⁴ ljo³ mo²¹] - [tsɔ⁴⁴ kɿ⁴⁴ ljo²¹]
 (那 时 候 你 掌 鼓 了 没? - 掌 鼓 了。)
 あの 時 君 手の平 たたく [否定] 手の平 たたく
 「あの時、君は拍手しましたか? - 拍手しました。」

例文30は「角を曲がる」という意味の離合詞“拐弯(儿)”が倒置されている例である。

- 30) [wä⁴⁴ ɛ⁴ kwɛ⁴⁴ ku²¹ tɿ^hɿ³³ xo²⁴ tɕju¹³ to²¹ lja³¹]
 (弯 儿 拐 过 去 呵^{*24} 就 到 lja^{*25}。)
 曲がり角 曲がる 過ぎる 行く [助詞] すぐ 着く [助詞]
 「角を曲って行けば、すぐ着きます。」

例文31は「点呼する」という意味の離合詞“点名”が倒置されている例である。

- 31) [b⁴⁴ sl³ mji²⁴ tɿɛ⁴⁴ ljo³ mo²¹] - [mji²⁴ tɿɛ⁴⁴ ljo²¹]
 (老 师 名 点 了 没? - 名 点 了。)
 先生 名前 調べる 了 [否定] 名前 調べる 了
 「先生は点呼をしましたか。 - 点呼しました。」

例文32は「顔をあわせる」という意味の離合詞“见面”が倒置されている例である。

- 32) [no⁴⁴ t^hA⁴⁴ lja³ mjɛ²⁴ tɕjɛ²¹ ljo³¹]
 (我 他 lja 面 见 了。)
 私 彼 と 顔 会う 了
 「私は彼と対面しました。」

例文33は「全力を尽くす」という意味の離合詞“尽力”が倒置されている例である。

- 33) [ni⁴⁴ l⁴⁴ tɕjɿ²¹ ljo³ mo²¹] - [l⁴⁴ tɕjɿ²¹ ljo³¹]
 (你 力 尽 了 没? - 力 尽 了。)
 君 力 出し切る 了 [否定] 力 出し切る 了
 「君は全力を尽くしましたか? - 全力を尽くしました。」

例文34は、「就職する」という意味の離合詞“就业”が倒置されている例である。

- 34) [ni⁴⁴ ni⁵⁵ tɕju²¹ ljo⁴ mo²¹] - [ni⁴⁴ tɕju²¹ ljo³¹]
 (你 业 就 了 没? - 业 就 了。)
 君 職業 就く 了 [否定] 職業 就く 了
 「就職しましたか? - 就職しました。」

例文35は「おじぎをする」という意味の離合詞“鞠躬”

*22 “吃亏”は本来、両要素とも動詞であり、本稿が考察対象とする VO 型離合詞とは異なる。しかし周 (2006: 119) によれば、普通話の離合詞“吃亏”においては“亏”が名詞 (目的語) 相当の成分として機能する (e.g. 数量詞の修飾を受ける) ということなので、本稿でも取り上げた。

e.g. 吃了一个亏。(Chɿ [食べる] le [了] yɿ [1] ge [量詞] kuɿ [欠ける]) 「1 つ損をした。」

なお後に挙げる“鞠躬”“考试”も、両要素とも動詞から成り立つが、上と同様の理由により、本稿では用例に加えている。

*23 例文27中の“着 [tsɔ]”は、主節と従属節とを結びつける clause linkage marker だと考えられる。当該要素についての詳細は川澄 (2010) 参照。

*24 西寧方言の助詞“呵 [xo]”は、仮定の意味を表す。

*25 文末に現れる助詞“[lja]”は、動作が未来に行われることを表す。都 (1995) 参照。

が倒置されている例である。

- 35) [t^h_A⁴⁴ nɔ⁴⁴ xA³ kwã⁴⁴ tʃ³₃^{w33} ljo²¹]
 (他 我 xA 躬 鞠 了。)
 彼 私 に体を曲げるかがむ了
 「彼は私におじぎをした。」

例文36は「金を寄付する」という意味の離合詞“捐款”が倒置されている例である。

- 36) [ni⁴⁴ tse⁴⁴ tʃ^h₃^{w44} xA³ k^hwã⁴⁴ tɕɥ^h_E⁴⁴ ljo⁴ mo²¹]
 - [k^hwã⁴⁴ tɕɥ^h_E⁴⁴ ljo³¹]
 (你 灾区 xA 款 捐 了 没? - 款 捐 了。)
 君 被災地 に 金 寄付する 了 [否定] 金 寄付する 了
 「被災地に寄付をしましたか? - 寄付しました。」

例文37は「試験する」という意味の離合詞“考试”が倒置されている例である。

- 37) [ni⁴⁴ sl²¹ k^hɔ⁴⁴ ljo²¹ mo²¹] - [no⁴⁴ sl²¹ k^hɔ⁴⁴ ljo²¹]
 (你 试 考 了 没? - 我 试 考 了。)
 君 試験する 試験する 了 [否定] 私 試験する 試験する 了
 「試験をしましたか? - 試験しました。」

例文38は「離婚する」という意味の離合詞“离婚”が倒置されている例である。

- 38) [ni⁴⁴ xwã⁴⁴ l²¹ ljo²¹ mo³¹] - [xwã⁴⁴ l²¹ ljo¹³]
 (你 婚 离 了 没? - 婚 离 了。)
 君 婚姻 離れる 了 [否定] 婚姻 離れる 了
 「離婚しましたか? - 離婚しました。」

例文39は「起床する」という意味の離合詞“起床”が倒置されている例である。

- 39) [ni⁴⁴ mA⁴⁴ tɕ^h₃^{wɔ̃}²¹ tʃ^h₃⁴⁴ ljo²¹ mo³³]
 - [tɕ^h₃^{wɔ̃}²⁴ mo²¹ tʃ^h₃⁴³]
 (你 妈 床 起 了 没? - 床 没 起。)
 君 母 ベッド 起きる 了 [否定] ベッド [否定] 起きる
 「君のお母さんは起きましたか? - まだ起きていません。」

例文40は「悲しむ」という意味の離合詞“伤心”が倒置されている例である。

- 40) [ni⁴⁴ ɕj^h₁⁴⁴ ʃɔ̃⁴⁴ ljo³² mo²¹] - [ɕj^h₁⁴⁴ ʃɔ̃⁴⁴ ljo²¹]
 (你 心 伤 了 没? - 心 伤 了。)
 君 心 傷つける 了 [否定] 心 傷つける 了
 「傷つきましたか? - 傷つきました。」

例文41は「出勤する」という意味の離合詞“上班”が倒置されている例である。

- 41) [t^h_A⁴⁴ pã⁴⁴ ʃɔ̃²¹ tsɿ³ sl²¹ xu²¹ tsu⁴⁴ ɔ̃³ tɕ^h₃² ljo³¹]
 (他 班 上 的 时 候 走 着 去 了。)*26
 彼 職場 通う の 時候 歩く 着 行く 了
 「彼は出勤する時、歩いて行った。」

例文42は「工事する」という意味の離合詞“施工”が倒置されている例である。

- 42) [wɿ²⁴ ɕju⁴⁴ fɔ̃²¹ tɕj^h_E⁴⁴ kwã⁴⁴ sl⁴⁴ ljo³² mo²¹]
 - [kwã⁴⁴ sl⁴⁴ ljo³¹]
 (维 修 房 间 工 施 了 没? - 工 施 了。)
 補 修 部屋 工事 行う 了 [否定] 工事 行う 了
 「部屋の補修工事はしましたか? - 工事しました。」

例文43は「投票する」という意味の離合詞“投票”が倒置されている例である。

- 43) [ni⁴⁴ p^hjɔ²⁴ t^hu²¹ ljo²¹ mo³] - [p^hjɔ²⁴ t^hu²¹ ljo¹³]
 (你 票 投 了 没? - 票 投 了。)
 君 票 投じる 了 [否定] 票 投じる 了
 「投票しましたか? - 投票しました。」

例文44は「車に酔う」という意味の離合詞“晕车”が倒置されている例である。

- 44) [ni⁴⁴ tɕ^h₃^hɛ⁴⁴ q̃²¹ ljo⁴ mo²¹]
 - [tɕ^h₃^hɛ⁴⁴ mo²¹ q̃²⁴]
 (你 车 晕 了 没? - 车 没 晕。)
 君 車 酔う 了 [否定] 車 [否定] 酔う
 「車に酔いましたか? - 酔っていません。」

例文45は「新入生を募集する」という意味の離合詞“招生”が倒置されている例である。

- 45) [ni⁴⁴ mɔ̃³ ɕqu²¹ ɕjo¹³ sɔ̃⁴⁴ tɕɔ̃⁴⁴ ljo⁴ mo²¹]
 (你 们 学 校 生 招 了 没?)
 君 達 学校 学生 招く 了 [否定]

*26 西寧方言では、動詞と趨向補語との間に“ɔ̃”や“着”(あるいはその両方)が介入することがある。このうち“着”については、川澄(2009a: 121-128)において、近代漢語で用いられていた構文“動詞+‘将 (or 着)’+趨向動詞”の名残であるという考えを示した。“ɔ̃”に関しては、来源や機能について詳しいことがまだわかっていない。

「君達の学校は新入生を募集しましたか？」

「私は学友と写真を撮った。」

例文46は「写真を撮る」という意味の離合詞“照相”が倒置されている例である。

[付記]

本研究は日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(A)「地球化時代におけるアルタイ諸語の急速な変容・消滅に関する総合的調査研究」(課題番号 21251006; 研究代表者: 久保智之)の援助を受けている。

- 46) [nɔ⁴⁴ t^hwə²⁴ ɕqu²¹ ljA¹³ ɕjɔ̃²⁴ tɕɔ²¹ ljɔ²¹]
(我 同 学 ljA 相 照 了。)
私 学友 と 姿 写す 了